

規格・仕様書 改訂に対応 建築知識学ぶ

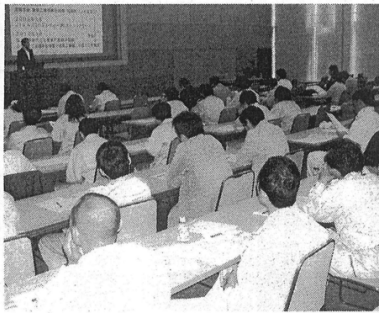
コンクリート技術講習会

県建設技術公社と県建築工業会

建築関連のコンクリート規格・仕様の改訂に伴う新しい建築工事の知識習得へ向けた講習会が9日、サンドーム福井で開催され、行政の発注担当者や設計・施工業者など約120人が参加しその要点を熱心に学んだ。

講師は福井県コンクリート診断士会長で福井宇部生コンクリート常務の石川裕夏氏が務め、JASS5や公共建築工事標準仕様書の改訂内容か

石川裕夏福井宇部生コンクリート常務が講師を務めた講習会 =9日、サンドーム福井



ら、その重要性などまで分かりやすく紹介。氏はJASS509における強度の定義・概念の変更（構造体強度の定義・S値など）に併せた注点などを確認した上で、今後求められるコンクリート技術として▽建築物の長寿命化と耐久性の確保▽ひび割れ対策・制御技術、維持管理技術▽建築物の高度強化▽地球環境の保護を列挙。総合評価入札の技術提案

に関連し、特にひび割れ対策は重要で、建築条件などに応じた適切な対策が必要などと指摘した。なお今テーマの建築工

事編講習会は初開催で、主催は県建設技術公社と県建築工業会。県、県建築士会、県建築士事務所協会が後援した。